

IV-111 港湾に対する住民のイメージの実態に関する研究

港湾技術研究所 正会員 工藤和男
 " " 金子 彰

1 はじめに

港湾をもつ都市の住民が 港湾に対してどのような意識をもっているかを探り 港湾をどのように整備するか PRをどのようにしたらよいか等の資料を得ることが本研究の目的である。

このためこれらの都市の市民が港湾に対してもっているイメージを探り そのもととなったと考えられる港湾への認識 あるいは生活とのつながりの意識等を明らかにしようとした。

2 研究の対象と方法

本研究では まず大都市港湾において上記の観点からの住民意識調査を行ない その中から実態を明らかにすることとした。調査の対象としては 対比的と考えられる横浜と東京を選び その各々から表1に示すように代表的と考えられる地区を町単位に8地区ずつ選び 昭和48年

表1 調査対象地区

11～12月に 郵送方式によるアンケート調査を実施した。これは各地区から250世帯を抽出し 横浜では計1863のサンプルに対し741の回収(回収率 38%) 東京では計1911のサンプルに対し589の回収(回収率 30%)であった。

	横 浜	東 京
臨海部	小港町 山下町 元町 伊勢佐木町	日島 晴海 東陽町 荻松町(旧) 大森北
内陸部	寺岡台 築名町 万葉ヶ原	龜有 錦旗台 富士見町 目黒本町

調査の内容としては以下のとおりである。

- ①フェイスシート(属性)
- ②基本的意識
 - ③港湾への認識 i) 港湾への来訪度 ii) 知名度 iii) 市民の利用できる施設の利用率 iv) 場所の認識度
 - ④イメージ i) 直観的イメージ ii) プラスイメージ iii) マイナスイメージ
 - ⑤生活との関連 i) 生活との関連についての意識 ii) 具体的なつながりの認識
 - ⑥問題点と解決方策 i) 問題点の意識 ii) 解決方策の意見

なおこの他に 水質やゴミ処理などについて調査をした。

3 調査の結果

以上の調査の結果 当初考えていたように 横浜と東京の間に 用ろかなイメージの差が見られ そのイメージ形成の要因のちがいがはっきり得られた。

① 基本的意識

横浜においては“港町”という意識がかなり強くもっていることが確認され これは内陸部の地区においても強いことが見られた。東京においては その理解度を問うたわけであるが これは抽象的理解かも知れないが “近代的な港”に発展していることが 十分理解されていた。このことから 以下示すような結果は基礎をもつものといえる。

② イメージと港湾への認識

港と市民の接点 直観的な連想 プラスイメージといった点で横浜は外国貿易を主体とした港としてのひとつの典型を示す回答が多かった。港と市民の接点という面で山下公園の持つ機能には注目すべきものがあり また直観的な連想では 客船、公園、外国人 港のプラスイメージとしては要国情緒、港の夜景が筆頭である。

東京港においては港と市民の接点は横浜ほど高くない。港の直観的イメージとして 倉庫、貨物船 埋立

地であり プラスイメージも 港の夜景を除くと 港の活気 船の美しさなど強いてあげられた感じのするものが多い。東京において 特に注目されるのは中央卸売市場が東京港の施設の中で知名度が最も高かったことである。しかしマイナスイメージについてみると横浜時に臨海部にありては 港と市民の接触が高いためより具体的(騒音)があげられている。

③生活との関連

生活との関連の項目の結果を表4、表5に示すが、この視点からは東京の方がより関連が強く感じられていることがうかがわれる。つまり東京においては "生活必需品の供給→港が生活に必要" という図式が横浜より強く成り立っていることがみられる。

4 結論

以上の調査結果から、横浜において "象徴的な港湾" と "実際の港湾" のイメージの分裂、逆に東京においては "知識" とこの理解ではあるが "実際の港湾" からのイメージの形成 の二面が

指摘され 市民により認識されるような港湾のあり方について一つの方向性を示唆しているように考えられる。

なお 本研究は(社)日本港湾協会 港湾の安全と環境に関する研究委員会 によっての調査がなされたものであり こに委員、幹事の方々からのご教示に対して感謝する次第であります。

表2 直観的イメージ

- Q 横浜港(東京港)からすぐ思い浮かぶものを3つまで選んで○印をつけて下さい
- | | | | | |
|---------|--------|--------|--------|--------|
| 1 かもめ | 2 臨海工場 | 3 観音街 | 4 客船 | 5 倉庫 |
| 6 公園 | 7 はしけ | 8 通関 | 9 外国人 | 10 貨物船 |
| 11 クレーン | 12 魚市場 | 13 埋立地 | 14 干拓地 | 15 暗黒街 |

		ホ1位	ホ2位	ホ3位
横浜	臨海部	4(59%)	6(57%)	9(42%)
	内陸部	6(63%)	4(60%)	9(82%)
東京	臨海部	13(67%)	5(59%)	10(52%)
	内陸部	5(60%)	13(59%)	10(48%)

表3 マイナスイメージ

- Q 横浜港(東京港)及びその周辺で 頭にいらぬものは何ですか。3つまで選んで○印をつけて下さい
- | | | | |
|------------|--------------------|---------|--------|
| 1 ごみごみしている | 2 騒音 | 3 騒音 | 4 震動 |
| 5 悪臭 | 6 船舶が怖い | 7 交通が不便 | 8 交通渋滞 |
| 9 水が汚い | 10 一般市民が立入れないとこが多い | | |

		ホ1位	ホ2位	ホ3位
横浜	臨海部	8(62%)	9(54%)	3(39%)
	内陸部	9(73%)	1(47%)	8(43%)
東京	臨海部	9(80%)	1(37%)	5(31%)
	内陸部	9(81%)	5(47%)	1(39%)

表4 生活との関連

- Q 横浜港(東京港)はあなたの生活に深いつながりがあると思いますか。
- | | |
|--------------------|-----------|
| 1 つ選んで○印をつけて下さい | |
| 1 港のない生活は考えられない | |
| 2 不可欠との実感はないがなければい | 3 いさ不便だろう |
| 3 日常生活には直接関係がない | |
| 4 もしもない方がよい。 | |

		1	2	3	4	計
横浜	臨海部	32	32	35	2	100%
	内陸部	17	38	45	0	100
東京	臨海部	27	58	14	2	100
	内陸部	33	53	12	2	100

表5 生活への役割

- Q 横浜港(東京港)は市民の生活にどのような役割を果たしていると思いますか。主要と思われるものを1つ選んで○印をつけて下さい
- | | |
|-------------------------------|---------------------|
| 1 食糧品など生活必需品の供給 | 2 散策など市民のレクリエーションの場 |
| 3 下水やゴミの処理 | 4 電気、石油製品などの供給 |
| 5 工業原材料や製品の搬入、積出により地域の産業経済の発展 | |
| 6 海上交通手段 | |

		1	2	3	4	5	6	計
横浜	臨海部	9	12	2	2	72	5	100%
	内陸部	4	14	1	2	73	7	100
東京	臨海部	24	1	6	7	53	8	100
	内陸部	26	1	10	5	30	8	100